

第 3 回伊平屋空港 P I 評価委員会 議事要旨

1 . 日 時 平成 20 年 1 月 15 日 (火) 13:30 ~ 15:30

2 . 場 所 ホテルチュラ琉球 7 階 会議室

3 . 出席者

(1) 委員 (順不同)

沖縄国際大学経済学部学部長 大城 保 (委員長)

琉球大学工学部環境建設工学科教授 堤 純一郎

フリージャーナリスト 崎山 律子

(2) 伊平屋空港協議会

沖縄県企画部参事 滝澤 裕

沖縄県土木建築部空港課課長 国吉 斉

伊平屋村村長 西銘 真助

伊是名村副村長 上里 政豊

4 . 次第

(1) 開 会

(2) 挨拶

(3) 委員及び出席者紹介

(4) 委員長挨拶

(5) PI ステップ 1 の実施状況について

(6) 議 事

伊平屋空港 PI (ステップ 2) 情報提供及び意見収集方法 (案) について

伊平屋空港の調査報告書 2 (案) について

伊平屋空港 PI に関するホームページ (案) について

その他

(7) 閉 会

5 . 配布資料

配席図

伊平屋空港 P I 評価委員会規約

資料 1 伊平屋空港 P I (ステップ 2) 情報提供及び意見収集方法 (案)

資料 2 伊平屋空港の調査報告書 2 (案)

資料 3 伊平屋空港の調査報告書 2 についてのご意見募集 (案)

資料 4 伊平屋空港 P I に関するホームページ (案)

参考資料 1 伊平屋空港 P I (ステップ 1) の実施状況

参考資料 2 伊平屋空港のパブリック・インボルブメント (PI) 実施計画書 (平成 18 年 5 月)

6．主な発言内容

(1) 伊平屋空港 P I (ステップ 2) 情報提供及び意見収集方法 (案) について

(堤委員)

広報・周知手段に関して、テレビやラジオ等では、見直すことや聞き返すことが出来ない。新聞等など文字情報が手元に残る媒体の方が広報・周知手段として有効なのではないか。

(事務局)

新聞については、琉球新報や沖縄タイムスが毎月 15 日に掲載している「県民サロン」の 2 月号に掲載する予定である。その他、琉球新報や沖縄タイムスの夕刊や週刊誌にも掲載申請を行いたい。

(崎山委員)

情報提供手段及び意見収集に関して、より多くの村民に P I ステップ 2 の内容を理解して頂き、その上で意見を頂くためには地元説明会が重要である。地元説明会を開催する前に、伊平屋村、伊是名村におけるパネル展示や、ラジオ、新聞、T V などのマスメディアと提携した P R 活動により、地元説明会を盛り上げてはどうか。

(大城委員長)

ステップ 1 では地元説明会の前後にパネル展示を実施している。ステップ 2 でも同様に実施しないのか。

(伊是名村副村長)

村民に対する P R 活動として、情報提供及び意見収集期間の 1 週間前から、伊平屋空港の必要性を防災無線で放送すれば、意見収集数が増加するのではないか。

(事務局)

伊平屋空港の P I 実施計画書では、P I ステップ 2 の P R 活動手法としてパネル展示は計画されていない。しかし、ステップ 2 でも情報提供及び意見収集期間の最終週に、県民ホールでパネル展示の実施を計画している。また、地元説明会の前後においても、伊平屋空港の整備に関心を持てるよう、パネル展示も含め検討していきたい。例えば、伊平屋、伊是名村の各戸には P R ポスター (A 4 版) を配布する予定である。また、両村の地元説明会の同日に、それぞれの中学生を対象にした説明会の開催を計画している。

(大城委員長)

マスコミへの情報提供に関して、ステップ 1 で実施した定例記者懇談会をステップ 2 でも実施してほしい。

(事務局)

マスコミへの情報提供に関して、1 月下旬に開催予定の定例記者懇談会において情報を提供する予定である。

(堤委員)

伊平屋や伊是名村の沖縄本島における郷友会に情報を提供することは可能か。

(事務局)

郷友会への説明会も計画している。開催日時、開催場所等については、伊平屋村、伊是名村、郷友会事務局と連絡を取りながら決めたい。

（大城委員長）

議事 1 については、意見を踏まえて最終的なまとめをしていただきたい。

（ 2 ）伊平屋空港の調査報告書 2（案）について

（堤委員）

4 頁に航空機は風が吹いている方向に向かって飛ぶことが理想と記載されているが、空港候補地周辺の主風向を明記したほうがよいのではないか。

（事務局）

主風向（北東）を追記した表現に修正したい。

（堤委員）

全頁の構成として、見出しとなる文章の先頭の星印や丸印について、文章の内容によって使い分けをしているようだが、統一が図られていないのではないか。

（事務局）

報告書全体を見直し、星印と丸印の使い方の整合をとりたい。

（崎山委員）

航空会社の意向に関して、伊平屋 - 那覇路線の採算性が十分でないと考えていることについても公表したほうがよいのではないか。

（伊是名村副村長）

両村を併せても 3,000 人程度である。伊平屋 - 那覇路線に対する沖縄県と航空会社の需要見込みの違いを明確に示したほうがよいのではないか。

（崎山委員）

調査報告書 2 の中で欠けている視点は、伊平屋空港は伊平屋と伊是名の人々の空港だという意識である。航空会社の意向の項目に、航空会社の意見を明記できないのであれば、伊平屋空港が両村の空港であることを強調した内容に変えてはどうか。

（事務局）

航空会社の意向に関して、沖縄県が就航を打診している航空会社では、路線の採算性についても検討を実施している。しかし、現段階では伊平屋路線に就航すると決めたわけではないので、就航を前提とした表現はしないしてほしいとの要望がある。航空路の開設・維持には両村の利用が必要であることを明確に盛り込んだ表現を検討したい。

（伊是名村副村長）

伊平屋 - 那覇路線の需要予測には、伊是名村民の利用も含まれている。伊平屋村と伊是名村間の交通アクセス整備をどのように考えているのか。

（伊平屋村村長）

野甫港と内花港を定期船で結ばなければならない。

（事務局）

両港とともに施設の老朽化が進んでおり、沖縄県としては、空港整備と併せて沖縄北部特別振興対策特定開発事業推進費により浮棧橋、防波堤などの整備を実施する予定である。

（崎山委員）

6 頁の自然環境への影響に関して、「野甫島にしか見られない貴重な動植物は確認されませんでした」との記述は、空港候補地に貴重な動植物が存在しないという誤解を生じる可能性がある。貴重な動植物が空港候補地内にも存在することを明確に出すべきである。

（事務局）

野甫島には豊かな自然が残されていることを明記し、自然環境を蔑ろにしていると受け取られないよう、表現方法を工夫したい。

（崎山委員）

4 頁に「移設が可能な拝所」とあるが、井戸のある拝所は移設できないのではないかと。

（伊平屋村村長）

井戸のある拝所であっても、村民と充分話し合い合意が得られれば移設も可能である。

（大城委員長）

2 頁に滑走路とターミナルのイメージとして沖縄県の空港の写真が掲載されているが、空港名を追記してほしい。

（事務局）

調査報告書に掲載している空港のイメージ写真には、空港名を明記する。

（大城委員長）

5 頁の費用便益分析の結果については、ステップ 2 の段階においても詳細な数値も併せて公表すべきである。

（堤委員）

需要予測値を明記し、需要を伸ばすための方策はこのように考えていると記述する方がよい。

（伊是名村副村長）

費用便益分析に関して、沖縄県としての需要予測を用いているならば、公表してほしい。

（事務局）

計画段階の需要予測についてはステップ 1 で既に公表している。費用便益分析の詳細な数値の公表について、現在は現地の測量や地質の調査をしていることもあり、工事費も含め費用便益比を計算する条件が変わってくる。現段階の費用便益比は便益が費用の約 2 倍であり、仮に条件が変わっても費用便益比が 1.5 を下回るようなことはないと考えている。しかし数値が一人歩きしてしまうことも考えられるので、工事費の精査も含め、より詳細な検討を実施した後に公表することとし、現段階で詳細な数値を公表することは差し控えたい。

(堤委員)

4 頁の大見出しでは「伊平屋空港はどんなことで配置が決まったの?」となっており既に決まった印象を与えかねない。これから、空港配置も含めた P I を行うため、記述を変更する必要があるのではないか。

(事務局)

この表現については再検討したい。

(堤委員)

6 頁の自然環境への影響に関して、既往調査で確認されている貴重種のなかで、レッドデータブックなどに記載されているものについては注釈をつけてはどうか。

(事務局)

環境省または沖縄県のレッドデータブックに指定されている種については、その旨が分かるように追記することとする。

(崎山委員)

裏表紙の計画概要について、冒頭の文章中の DHC - 8 型機の後ろにも座席数を明記したほうがよい。

(事務局)

DHC-8 型機 (39 人乗り) に修正する。

(大城委員長)

議事 2 についても、意見を踏まえて最終的なまとめをしていただきたい。

(3) 伊平屋空港 P I に関するホームページ (案) について

(大城委員長)

本日の委員会で議論した内容について、ホームページも併せて修正してほしい。

(堤委員)

インターネットでの意見収集方法に関して、エクセルシートに記入してからメールに添付して送る方法は、面倒であり意見の収集も期待できない。フラッシュで出来るように変更してほしい。

(事務局)

ホームページを管理する沖縄県の問題もあるため、沖縄県の情報担当者と調整し、変更できるよう努力したい。

(大城委員長)

ホームページ上の意見収集方法を見直してほしい。第 3 回 P I 評価委員会で議論された事項の対応については、事務局に一任する。

以上

7. 第3回委員会での指摘事項を踏まえた修正内容

第3回委員会において、PI評価委員の方々からご指摘があった内容について、以下の通り修正を行った。

(1) 伊平屋空港PI(ステップ2) 情報提供及び意見収集方法(案)について

Q. 広報・周知手段に関して、テレビやラジオ等は、見直すことや聞き返すことが出来ないため、新聞など文字情報が手元に残る媒体の方が広報・周知手段として有効ではないか。

A. PI実施の周知を行うために、行政広報誌等に3誌・3回掲載したことに加え、琉球新報や沖縄タイムス、副読誌等新聞に計4誌・6回掲載した。さらに、伊平屋・伊是名村に対しては、ポスターの縮小版のチラシをPR活動期間中に配布し、文字情報が手元に残る周知活動を多数実施した。

Q. 説明会を実施する前に、パネル展示や防災無線、ラジオ、テレビと提携したPR活動を実施し、説明会を盛り上げるべきである。

A. 説明会実施前には、港ターミナルや沖縄県庁でパネル展示を実施した。また、説明会開催当日には伊平屋・伊是名村において防災無線で説明会への参加を周知し、説明会実施期間中にはテレビやラジオでPI実施を周知した。

Q. ステップ1で実施した定例記者懇談会を実施してほしい。

A. PR活動期間の1月29日に沖縄県土木建築部が定例記者懇談会を実施した。

Q. 伊平屋・伊是名村の沖縄本島における郷友会に情報提供を行うことは可能か。

A. 意見収集期間の2月27日に「浦添宜野湾漁業協同組合研修センター」において、沖縄本島在住の伊平屋村人会、伊是名郷友会を対象に説明会を実施した。

(2) 伊平屋空港の調査報告書2(案)について

Q. 見出しの先頭の星印、丸印の使い分けの統一が図られていない。

A. 見出しに関しては、疑問文の場合は星印、疑問文に対する回答文は丸印、その他の見出しはダイヤ印で統一を図った。

★伊平屋空港に必要な施設は？

滑走路の長さはどうやって決めるの？

(旧)

滑走路の長さは、主に就航する航空機の種類によって決められます。
伊平屋空港では、那覇空港と伊平屋空港を結ぶ路線にDHC-8型機の就航を想定しています。
伊平屋空港の滑走路は、航空会社の意見も踏まえ、長さ1,180mを計画しています。



◆滑走路の長さ

(新)

滑走路の長さは、主に就航する航空機の種類によって決められます。
伊平屋空港では、那覇空港と伊平屋空港を結ぶ路線にDHC-8型機の就航を想定しています。
伊平屋空港の滑走路は、航空会社の意見も踏まえ、長さ1,180mを計画しています。

Q. P2に滑走路と旅客ターミナルのイメージに、空港名を追記してほしい。

A. 空港のイメージ図に空港名を追記した。

(旧)



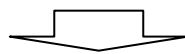
(新)



Q. P4の大見出しが「伊平屋空港はどんなことで配置が決まったの？」と既に決まった印象を与えかねないため、記述を変更する必要がある。

A. 「伊平屋空港の配置はどのように計画したの？」との表現に修正した。

(旧) ★伊平屋空港はどんなことで配置が決まったの？



(新) ★伊平屋空港の配置はどのように計画したの？


Q . P 4 の伊平屋空港配置における航空機の安全運航への配慮に関して、空港候補地周辺の主風向を明記した方がよい。

A . 空港候補地周辺の主風向である“北東”を追記した。

<p style="text-align: center;">(旧)</p> <p>● 航空機の安全運航に配慮しました！</p> <p>航空機は横風に対して弱く、風が吹いてくる方向に向かって飛ぶことが理想です。滑走路は、離着陸する航空機が受ける横風のほか、周辺の地形や構造物などが離着陸の障害とならないように計画しています。</p>	➔	<p style="text-align: center;">(新)</p> <p>● 航空機の安全運航に配慮しました！</p> <p>航空機は横風に弱く、向かい風を受けて飛ぶことが理想です。滑走路の方位は、候補地の風向き(北東)のほか、周辺の地形や構造物が離着陸の障害とならないよう、総合的に検討して計画しています。</p>
---	---	--

Q . 伊平屋村と伊是名村間の交通アクセス整備をどのように考えているのか。(P 4 参照)

A . 野甫港と内花港を定期船で結ぶことを検討していること、また、両港は施設の老朽化が進んでいるため、再整備が必要となることを盛り込んだ表現に修正した。

<p style="text-align: center;">(旧)</p>  <p>伊平屋村と伊是名村は、予約に応じて運航される渡し船で結ばれています。将来は、両村を定期船で結ぶことを検討しています。</p>	➔	<p style="text-align: center;">(新)</p>  <p>伊平屋村と伊是名村は、予約に応じて運航される渡し船で結ばれています。将来は両村を定期船で結ぶことを検討しており、また、その拠点となる野甫港や内花港の再整備を実施しています。</p>
--	---	---

Q . P 5 の航空会社の意向の項目に、航空会社の採算性に対する意見が明記できないのであれば、伊平屋空港は伊平屋と伊是名の両村の空港であることを強調した内容に変えてはどうか。

A . 航空路の路線・維持には利用者増加のために両村の積極的な取組みが必要であることを盛り込んだ表現に修正した。


(旧)

★ **那覇－伊平屋路線開設の見込みをエアラインに聞いてみました！**

航空会社の意向

航空会社の意見によると、路線開設にあたり、採算性の面からは充分な需要が必要だとしている。

伊平屋路線の開設・維持は、お客さんの数が大きく影響するのね！




(新)

★ **那覇－伊平屋路線開設に向けて航空会社と調整を進めています！**

伊平屋空港は、伊平屋村と伊是名村の村民が、将来にわたり安心して島で暮らせるための社会基盤と考えています。一方、航空会社の意見によると、伊平屋路線の開設にあたり、採算性の面からは充分な需要が必要だとしています。伊平屋路線の開設・維持には、両村民の積極的な利用のほか、観光などで島を訪れる利用者を増やすための地元の取組みも重要になります。

伊平屋路線の開設・維持は、お客さんの数が大きく影響するのね！



Q . P 6 の自然環境への影響に関して、「野甫島にしか見られない貴重な動植物は確認されませんでした」との記述は、空港候補地に貴重な動植物は存在しないという誤解を与えかねないため、貴重な動植物が候補地周辺にも存在する可能性があることを明記すべきである。

A . 野甫島には豊かな自然が残されているため、今後、環境アセスメントの実施により自然環境への影響を詳細に検討していくことを盛り込んだ表現に修正した。

(旧)

★ **自然環境への影響は？**

伊平屋空港の候補地において行った自然環境調査の結果では、野甫島にしか見られない貴重な動植物は確認されませんでした。しかし、野甫島には豊かな自然が残されています。環境アセスメントの実施により、今後、空港建設が自然環境に与える影響を詳細に検討します。

(新)

★ **自然環境への影響は？**

野甫島には豊かな自然が残されており、候補地周辺で行った自然環境調査においても貴重な動植物が確認されています。今後、環境アセスメントの実施により、空港建設が自然環境に与える影響や保全対策について詳細に検討します。

Q . P 6 の自然環境への影響に関して、既往調査で確認されている貴重種の中で、レッドデータブックなどに記載されているものについては、注釈をつけたらどうか。

A . 「環境省レッドデータブックに記載されている貴重な動植物」に関しては、注釈を追記した。

主な貴重な動植物
野甫島で見つかった主な貴重種

(旧)

<p>● 陸域植物</p> <p>ハリツルマサキ リュウキュウクロウメモドキ ハイシバ、エダウチャガラ</p>	<p>● 陸域動物</p> <p>オリイオオコウモリ（哺乳類） ミサゴ、ハヤブサ、シロチドリ（鳥類） ナキオカヤドカリ、ムラサキオカヤドカリ オカヤドカリ（甲殻類）</p>	<p>● サング類・潮間帯生物等</p> <p>ムカシサンゴ、シコロサンゴ エダコモンサンゴ</p>
---	--	--






主な貴重な動植物
野甫島で見つかった主な貴重種

(新)

<p>◆ 陸域植物</p> <p>ハリツルマサキ[※] リュウキュウクロウメモドキ[※] ハイシバ[※]、エダウチャガラ</p>	<p>◆ 陸域動物</p> <p>オリイオオコウモリ（哺乳類） ミサゴ[※]、ハヤブサ[※]、シロチドリ（鳥類） ナキオカヤドカリ、ムラサキオカヤドカリ オカヤドカリ（甲殻類）</p>	<p>◆ サング類・潮間帯生物等</p> <p>ムカシサンゴ、シコロサンゴ エダコモンサンゴ</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">※環境省レッドデータブックに記載されている貴重な動植物</p>
---	--	--

Q . 裏表紙の計画概要に関して、DHC-8 型機に座席数を記載したほうがよい。

A . 「DHC-8 型機（39 人乗り）」に修正した。

<p>(旧)</p>  <p>DHC-8 型機</p>		<p>(新)</p>  <p>DHC-8 型機(39人乗り)</p>
--	---	--

(3) 伊平屋空港PIに関するホームページ(案)について

Q. 意見収集方法に関して、エクセルシートに記入してからメールに添付して送る方法は面倒であり、フラッシュで意見を送付できるように変更してほしい。

A. Web上で簡単に意見を送付できるように設定した。

(旧)

ご意見募集

ご意見募集ページ

「伊平屋空港の調査報告書2」に対するご意見をお寄せください。

「伊平屋空港の調査報告書2」をお読みいただきありがとうございます。
下記の方法で、「伊平屋空港調査報告書2」に関する、みなさんの考えやご意見をお寄せ下さい。

Eメールでのご意見送付方法

- 1** ご意見記入シートは「エクセルファイル(40KB)」でご用意しております。
「ご記入シート(40KB)」ボタンをクリックして、ユーザー様のパソコンに「Answer_sheet.xls」をダウンロード(保存)してください。

「ご記入シート」はこちら CLICK

- 2** ダウンロードした「ご記入シート」の表頭に対するお答えをご記入いただき、パソコンに保存し書き込んでください。
- 3** 下の「意見を送る」ボタンをクリックすると、お使いのメールソフトが立ち上がりますので、(a)でパソコンに保存した「ご記入シート」をそのメールに添付し送信してください。なお、「ご記入シート」の添付等がうまくいかない場合には、ご意見をメールに記入いただき、送信してください。

意見を送る

ご意見は2008年2月29日までにお寄せください。
みなさまからいただいたご意見は、個人が特定される情報を除き、取りまとめて公表する予定です。
当個人情報は厳格に管理し、目的外の使用は一切いたしません。

このページのトップへ

(新)

ご意見募集

ご意見募集ページ

「伊平屋空港の調査報告書2」に対するご意見をお寄せください。

「伊平屋空港の調査報告書2」をお読みいただきありがとうございます。
下記の方法で、「伊平屋空港調査報告書2」に関する、みなさんの考えやご意見をお寄せ下さい。

ご意見送付方法

下記の「ご記入シート」にご意見を記入いただき、「送信ボタン」をクリックしてください。

「ご記入シート」はこちら CLICK

ご意見は2008年2月29日までにお寄せください。
みなさまからいただいたご意見は、個人が特定される情報を除き、取りまとめて公表する予定です。
当個人情報は厳格に管理し、目的外の使用は一切いたしません。

伊平屋空港のバブリック・インボルブメント(PI)

伊平屋空港協議会

ご意見ご記入シート

「伊平屋空港の調査報告書2」をお読みいただきありがとうございます。
以下の質問に対する回答やご意見をご記入ください。

問1	今回のPI(ステップ2)が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。 (回答は複数でも結構です。以下の1-4のボックスをチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 1 伊平屋空港の調査報告書2の配布 <input type="checkbox"/> 2 ポスター <input type="checkbox"/> 3 ホームページ <input type="checkbox"/> 4 行政の広報誌(「広報いへや」、「広報いげな」等) <input type="checkbox"/> 5 周囲の人などからの伝言(口伝) <input type="checkbox"/> 6 テレビ・ラジオ <input type="checkbox"/> 7 電光掲示板 <input type="checkbox"/> 8 その他(「その他」の内容を以下の回答記入欄にご記入ください)
問2	今回ご提供した「伊平屋空港の調査報告書2」の内容について、興味をもちましたか? <input type="checkbox"/> 1 とても興味深かった <input type="checkbox"/> 2 興味深かった <input type="checkbox"/> 3 余り興味ももてなかった <input type="checkbox"/> 4 興味がない

以下の問3-問10の質問は、お読みいただいた「伊平屋空港の調査報告書2」の内容について、どの程度ご理解いただけたかをお知らせするものです。
以下の質問に対する答えをご記入ください。

問3	伊平屋空港のPIの進め方についてご理解いただけましたか。(調査報告書1頁) <input type="checkbox"/> 1 理解できた <input type="checkbox"/> 2 ある程度理解できた <input type="checkbox"/> 3 よくわからない
問4	PIステップ2終了後、開催までに必要な検討内容や手続きについてご理解いただけましたか。(調査報告書1頁) <input type="checkbox"/> 1 理解できた <input type="checkbox"/> 2 ある程度理解できた <input type="checkbox"/> 3 よくわからない

住所	都道府県	市郡	区町村
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
年齢	<input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70歳以上		
職業	<input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 自由業 <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 派遣社員 <input type="checkbox"/> 学生・生徒 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他()		

全て入力できましたら、下の「送信ボタン」をクリックしてください。

送信ボタン

ご協力ありがとうございます。

(抜粋)